



令和8年5月28日

報道関係各位

国立大学法人 弘前大学

岩木川で稚アユの遡上がはじまっています

【本件の概要】

岩木川の河口から約11km地点にある芦野頭首工（農業用の取水堰）では、老朽化に伴う機能低下に対応するために、農林水産省東北農政局によって改築工事が進められています。その中で、河川を遡上する魚の通り道である「魚道（ぎょどう）」の工事が行われ、左岸側の魚道は令和6年3月に竣工しました。

弘前大学の矢田谷助教の研究グループでは、本魚道の効果を調べるために、魚道を通過する魚達の採捕調査を行っています。令和8年5月21日、22日に調査を行った結果、多くの稚アユが魚道内で採捕され、アユの遡上がはじまっていることがわかりました。

今後の水温上昇とともにアユの遡上が本格化することが期待されます。本研究グループでは、これから8月末まで概ね2週間おきに現地調査を実施し、遡上する魚種や数量を調べていく予定です。



出典：地理院地図（国土地理院）を加工して作成



図：芦野頭首工（調査対象地）

【取材に関するお問い合わせ先】

（所属）	弘前大学農学生命科学部
（役職・氏名）	助教・矢田谷 健一（やたや けんいち）
（電話・FAX）	0172-39-3843
（E-mail）	yataya@hirosaki-u.ac.jp



【調査の概要】

- ・調査対象地：芦野頭首工左岸 粗石付き斜路式魚道（※次ページ写真参照）
（つがる市稲垣町下繁田川袋島地先）
- ・調査日：令和8年5月21日、22日（※今後、継続予定）
- ・調査内容：魚道内にかご状建網を設置し、遡上する魚類等を採捕し、魚種、数量、体長を計測するもの。採捕時間は8:00~16:00とし、2時間おきに網上げした。本調査は、魚道の効果を明らかにすることを目的としている。
- ・調査結果：2日間の調査において、下表の魚類等が採捕された。今回の調査では、“やませ”の影響で日中の河川水温が上がらず（15~18℃）、魚類の遡上にとっては良いコンディションではなかったものの、2日間で計1,027尾の稚アユ（体長6cm前後）の遡上が確認された。

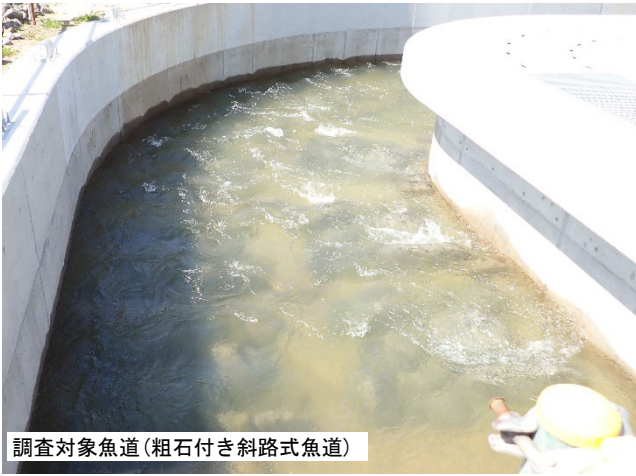
表：調査結果一覧表（速報値）

5月21日（木）※魚道上流端に採捕網設置

網上げ時間	アユ	ヨシノボリ類	ウグイ	ワカサギ	ビワヒガイ	カマツカ類	ゲンゴロウブナ	サケ(稚魚)	モクズガニ
10:00	149	0	0	0	1	0	1	1	0
12:00	97	2	5	0	0	2	0	0	0
14:00	61	5	0	1	1	1	1	0	0
16:00	172	2	1	1	2	1	0	0	0
合計	479	9	6	2	4	4	2	1	0

5月22日（金）※魚道下流側に採捕網設置

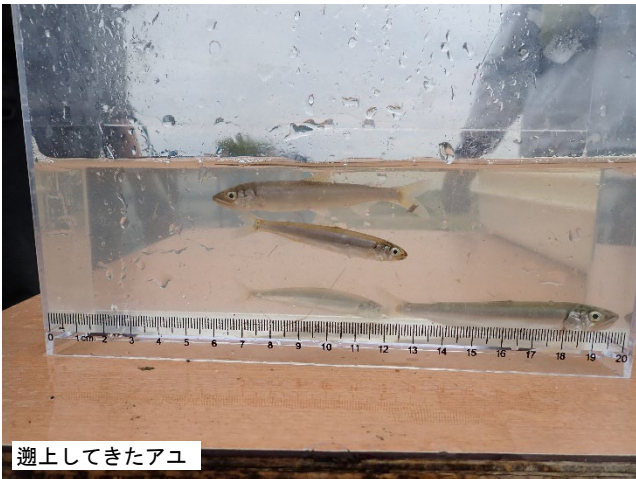
網上げ時間	アユ	ヨシノボリ類	ウグイ	ワカサギ	ビワヒガイ	カマツカ類	ゲンゴロウブナ	サケ(稚魚)	モクズガニ
10:00	150	1	0	0	0	0	0	0	0
12:00	40	0	0	0	0	0	0	0	0
14:00	61	1	0	1	0	0	0	0	0
16:00	297	11	0	3	0	0	0	0	1
合計	548	13	0	4	0	0	0	0	1



調査対象魚道(粗石付き斜路式魚道)



調査対象魚道(粗石付き斜路式魚道)※非通水時に撮影



遡上してきたアユ



遡上してきたアユ



採捕網設置状況



調査スタッフ(学生)

写真：調査対象魚道と調査の状況

謝辞

本調査を実施するにあたり、岩木川漁業協同組合の齊藤裕氏の協力を受けています。
齊藤氏に深く感謝申し上げます。